

理事会と評議員会を開催
 (海外子女教育振興財団)

海外子女教育振興財団は二〇二三年度の第一回となる理事会を六月十二日に、同じく評議員会を二十八日に、それぞれ経団連会館にて行った。

理事会でのおもな議案は二二年度の事業報告と決算書類、顧問の選任の承認について、評議員会でのおもな議案は評議員・理事・監事の選任、および二二年度決算の承認の件で、それぞれ承認された。

二二年度の収支決算は、経常収益が十二億二〇二万九千七百三円で、経常費用が十二億七千四百五十二万四千九百円となった。

事業報告および収支決算については本財団ウェブサイト(<https://www.joes.or.jp/gaiyo/report/>)に掲載している。

このたび辞任、退任、就任した評議員・理事・監事、顧問の件は次の通り。

《評議員の選任》

《任期満了に伴う再任》

※二〇二七年六月まで

○井上 弥 (東レ株式会社 人事部 長兼 人事開拓室長)

○奥山 洋介 (トヨタ自動車株式会社 人事部 グローバル労務室 室長)

○神戸 誠 (キヤノン株式会社 人事統括センター所長 兼 人事部長)

○小阪 享司 (日産自動車株式会社 人事部 理事)

○坂部 隆 (一般社団法人日本在外企業協会 専務理事)

○多田 孝志 (学校法人金沢学院 大学 教育学部長 教授)

○但田 昌嗣 (NEC マネジメント パートナー株式会社 人事サービス事業部 人事シニアードユニット 海外人事オペレーション チーム マネージャー)

○寺田 創 (YKK株式会社 執行役員 管理本部 人事部長)

○半田 淳子 (学校法人国際基督教大学 教養学部 教授 グローバル教育 センター 長)

○人見 誠 (株式会社みずほ銀行 執行理事 人事業務部長)

○平野 吉三 (特定非営利活動法人 八王子国際協会 顧問)

○古本 陽荘 (株式会社毎日新聞 社 編集編成局次長 兼 外信部長)

○宮地 信貴 (株式会社東芝 人事部 総務部 人事企画第二室 労働・制度企画 グループ 長)

《任期満了に伴う交代》

※二〇二七年六月まで

【選任】

○澤田 健太郎 (丸紅株式会社 人事部 長)

○杉本 一朗 (一般社団法人共同通信社 総務局 人事グループ 人事部長)

○野口 耕一 (一般社団法人茶道裏千家 淡交会 専務理事)

○原 美奈子 (帝人株式会社 人事戦略部長)

○平原 克彦 (本田技研工業株式会社 コーポレート 管理本部 人事統括部 労政企画部 労政課 長)

○宮崎 仁志 (ENEOS株式会社 人事部 長)

○安田 和弘 (住友商事株式会社 人事部 厚生部長)

【退任】

○鹿島 浩一 (丸紅株式会社)

○高橋 雅哉 (一般社団法人共同通信社)

○松尾 拓二 (一般社団法人茶道裏千家 淡交会)

○唐澤 利武 (帝人株式会社)

○松本 信明 (本田技研工業株式会社)

《理事の選任》

《任期満了に伴う再任》

※二〇二五年六月まで

○井上 史子 (三井物産株式会社 人事部 総務部 次長)

○尾中 俊之 (パナソニックオペレーション エグゼクティブ 株式会社 エンプロイヤーサクセスセンター 人事ソリューション 企画室 長)

○宮本 史昭 (一般社団法人日本貿易会 常務理事)

《任期満了に伴う交代》

※二〇二五年六月まで

【選任】

○石田 律子 (株式会社HHI 人事部 DE&I グループ 主査)

○島村 寛人 (三菱商事株式会社 人事部 次長)

○高林 暁 (株式会社商船三井 人事部 長)

【退任】

○豊田真純子 (HHI ASIA PACIFIC (Thailand) Co., Ltd.)

○田元 英樹 (三菱商事株式会社)

○竹崎 弘倫 (株式会社商船三井)

※二〇二五年六月まで

【新任】

○垣見 俊之 (伊藤忠商事株式会社 執行役員 人事・総務部長 (兼) グループ CEO オフィス)

《監事の選任》

〔任期満了に伴う再任〕

※二〇二七年六月まで

○高際 伊都子（学校法人渋谷教育学園渋谷中学高等学校 校長）

〔任期満了前の交代〕

※二〇二五年六月まで

《選任》

○吉田 俊哉（野村ホールディングス株式会社 グループ人事戦略兼人材開発担当執行役員）

《辞任》

○三輪 悦朗（野村ビジネスサピス株式会社）

《顧問の選任》

○新浪 剛史（公益社団法人経済同友会 代表幹事）

《辞任》

○櫻田 謙悟（公益社団法人経済同友会 前代表幹事）

アメリカの教育関係者が海外
外子女教育振興財団を来訪

今年で三十一回目となるニューヨーク日本商工会議所主催「米国人教育者日本派遣プログラム」の一環として、アメリカのコネティカット州、ニューヨーク州、ニュージャージー州の教育関係者等十

八人が七月三日、海外子女教育振興財団（東京都港区・以下「JOES」）に来訪し、日本の教育について説明を受けたほか、日米の教育事情等について情報を交換し合った。本財団等からはオンラインでの視聴を含め約二十人が参加した。なお、本会はコロナ禍を経て四年ぶりの開催であった。

JOESを代表して事業部の部長とアメリカ側の代表者前田正明氏があいさつを交換したのち、文部科学省国立教育政策研究所の職員である矢崎桂一郎氏が日本の教育一般についてわかりやすく解説した。

質疑応答では、アメリカ側から特別支援教育や教員の研修制度、ICT教育にかかわる教室整備に関する質問等が挙がったほか、日本語のことばの基本をどう確立させているのか等に関する意見交換も行われた。

次に、JOESの佐々信行職員が日本の学校現場の様子やJOESの業務について説明し、同じく教育振興チームの大石陽子リーダーが「日本の公立小学校」について、ひとりの小学生を通して映像で紹介した。給食や掃除、授業や休み時間など、日本ならではの様

子にアメリカ人教育関係者からはときおり驚きの声が上がった。

その後はランチを兼ねながら、ニューヨークの現地校に通った経験を持つ帰国生にインタビューした動画も披露された。帰国生から、アメリカでの学校生活がかけがえない体験になっていることや、先生や友達が歓迎してくれたことへの感謝の思いが語られると、会場は温かい雰囲気になりました。

最後にJOESの浅原賢業務執行理事があいさつに立ち、「これからも日本の子どもたちのことをよろしく願います」と頭を下げた。今後も交流を続けていくことが約束され、惜しまれつつの散会となった。

その後、アメリカ人教育関係者とJOESの職員三人は「日本の小学校訪問」の一環で、帰国生が多く在籍し、受け入れの伝統がある東京都目黒区立東山小学校（村尾勝利校長）に向かった。

同小学校では、管弦楽によるアメリカ合衆国の国歌演奏で迎えられ、六年生の英語の授業を見学したり、先生たちと歓談したりした。『It's a Small World』の合唱で見送られると、アメリカ人教育関係者からは一日をふり返り、「日本の

教育事情や文化について理解でき、勉強になった。JOESの存在を知れたことは大きい。今後、密に連絡を取り合い、両国の教育の発展につなげていきたい」

「東山小学校では、素敵な歓迎を受けてとても感激した。子どもたちが素晴らしく、日ごろの教育の充実ぶりが垣間見られた。英語の授業を実際に見学し、先生がたや子どもたちと意見交換できたことは、今後、日本から子どもが編入してきた際の参考になると思う」などの声が寄せられた。



懇談の様子

第二十七回図書館を使った
調べる学習コンクール募集
要項（公益財団法人図書館
振興財団）

目的

図書館の利用促進と調べる学習の普及

募集内容

①調べる学習部門

小学生の部（低学年・中学年・高学年）、中学生の部、高校生の部、大人の部、子どもと大人の部。図書館を使って調べ、まとめた作品。調べるテーマは自由。②調べる学習指導・支援部門
図書館を使った調べる学習の指導・支援の実践をまとめた作品
募集期間

九月十一日～十月二日必着。

賞 文部科学大臣賞など多数。応募者全員に参加賞。

詳細・応募・問い合わせ先

公益財団法人図書館振興財団

URL:<https://concours.toshokan.or.jp>

第十五回環境教育ポスターコンクール開催（公益財団法人子ども教育支援財団）

目的

子どもたちが環境についてできることを考え、表現する場を提供する。

募集内容

「環境」をテーマとしたポスター

①作品（かならず標語を入れること）

対象

小学生～高校生（国内・海外）

募集期間 十月二日必着
賞 文部科学大臣賞等のほか、応募者全員に参加記念品

詳細・応募・問い合わせ先

（公財）子ども教育支援財団
ポスターコンクール係

URL:https://kodomo-zaidan.net/ourbusiness/career_path/poster

帰国生のための国内学校説明会・相談会を開催

（海外子女教育振興財団）

国内外のおもな帰国子女受入校等（約一四〇）の担当者が、オンラインで学校紹介をはじめ帰国生の進学に関する説明会を五月末から九月末にかけて行います。

特設サイトには学校選択に関する各種情報が掲載され、閲覧可能です。利用するにあたっては事前に参加の登録をする必要がありますのでご注意ください。

なお、開催状況等の詳細はウェブサイトで随時案内するほか、FacebookやTwitter、メールアドレスでも配信しています。

ふるってご参加ください。

詳細 URL:<https://www.joes-event.jp>

海外で使用する教科書の無償配付について

（海外子女教育振興財団）

海外滞在予定が一年以上（永住は除く）の日本国籍を持つ小・中学生は無償で教科書を受け取ることが出来ます。ただし、現地到着当初に使用する教科書は海外では用意されていませんので、かならず出国前に海外子女教育振興財団で受け取ってください。

その後の海外滞在中の教科書に関しては在留地を管轄する在外公館（大使館・総領事館等）が配付を統括しています。現地に到着しましたら、速やかに在外公館に「在留届」を提出し、教科書受領のための手続きを行ってください。

詳細については本財団のウェブサイトをご覧ください。

問い合わせ先

海外子女教育振興財団
情報サービスチーム

URL:<http://www.joes.or.jp/kyokasho/>

九月以降、月刊『海外子女教育』は「JOESマガジン」に移行

（海外子女教育振興財団）

海外子女教育振興財団が設立された一九七一年から発行し続けてきた月刊『海外子女教育』ですが、本年八月号をもって終刊とし、九月以降はウェブ版「JOESマガジン」に移行します（本財団ウェブサイトで運営。購読無料）。

媒体は変わりますが、記事の基本的方針はこれまでの流れを受け継ぎ、動画を取り入れるなど新たな試みも加えながら読者の皆さまのご期待にこたえていく所存です。よりよいマガジンになるよう「不易流行」をモットーに心してまいります。引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

新規ご入会維持会員

- ・海星中学校・高等学校
- ・東急不動産株式会社
- ・株式会社JERA

八月十四日夏季休業のお知らせ

（海外子女教育振興財団）

海外子女教育振興財団は八月十四日を夏季休業日といたします。